



知るほど面白い!

特集

ふくしまインフラツーリズム

～見て、学んで、福島を支えるインフラを身近に～

福島県では、県内のダムや橋などの公共土木施設（インフラ）を地域固有の観光資源として捉え、県内外からの来訪による交流人口拡大を図る「インフラツーリズム」の取り組みを令和4年度から行っています。

令和7年度からは、県内の魅力的な建築施設を新たに組み入れた「建築文化編モデルコース」を作成するなど、福島の魅力をより多くの方に知っていただけるよう情報発信しています。

「ふくしまインフラツーリズム」とは

ダムや橋などの公共土木施設（インフラ）そのものを地域固有の観光資源として位置づけ、県内の温泉などの観光資源と組み合わせて魅力をPRする取り組みです。例えば、普段はなかなか入る機会のない施設内部に入ってみたり、日々変化する工事中の景色を見たり、インフラのもつ歴史を学んだり、「非日常」の体験を楽しみながら、インフラへの理解を深めることができます。

ふくしまインフラツーリズム
INFRA TOURISM IN FUKUSHIMA



\\ 例えば、こんな巡り方 //



大人も社会見学 モデルコース

県南編

関東からほど近い県南エリアのインフラ施設と、観光スポットを楽しむ旅です。

1日目

新白河駅 → 白河小峰城跡 → (昼食)

→ 葉ノ木平地区地すべり対策施設



→ 堀川ダム → 雪割橋

→ 甲子温泉 (泊)

堀川ダム



阿武隈川の河床砂れきを堤体材料に使用したロックフィルダム

2日目

甲子温泉発 → 甲子大橋

→ エンゼルフォレスト白河高原

→ (昼食) → だるまランド

→ 新白河駅着



甲子大橋



形式はアーチ橋の一種である
ローゼ橋

※ポータルサイト（詳しくは4ページ）では、県内各地のさまざまなコースが紹介されています。

現場に行くと見えてくる！インフラの魅力



松川浦大橋 | 相馬市

橋上から相馬港や松川浦を眺望できる、相馬市を代表する観光スポットで、横浜ベイブリッジと同じ形式で造られています。夜になると白・緑・オレンジと色を変えながらライトアップされ、美しい姿を見せてくれます。

浜通り



小名浜港 | いわき市

1・2・3号ふ頭の緑地エリアは「アクアマリンパーク」と呼ばれ、公園や釣りなど親子で楽しめるスポットが点在しています。周辺には水族館や観光物産館などの施設があり、イベントも多いので要チェック。



千五沢ダム | 石川町

1975（昭和50）年に建設されたかんがい専用ダムで、新たに洪水調節を行うための改築工事を経て、2024（令和6）年に完成しました。ラビリンズ型とよばれる洪水吐き（洪水を安全に下流に流す施設）の形に注目！

中通り



あづま総合運動公園 | 福島市

吾妻連峰のふもと、荒川沿いにある広大な運動公園。東京2020オリンピックで野球・ソフトボール競技の会場となった「県営あづま球場」や運動遊具が豊富な「トリムの森」など、さまざまな施設があります。



東山ダム | 会津若松市

高さ70メートル、長さ275メートルの多目的ダムで、洪水調節や上水道用水の供給のほか、ダムの高低差を利用したダム式水力発電を行っています。近くには湯治場として有名な東山温泉があり、合わせて訪れるのもおすすめです。

会津



日中ダム | 喜多方市

石や岩石を主材料として造られるロックフィルダムで、20年余りの年月をかけて完成しました。ダム周辺の自然豊かなブナの森には、多くの野生動物が生息し、ダム湖畔にある登山道は沢登りの名所としても知られています。

福島県のインフラの魅力を県内外へ発信中！

ポータルサイト



ふくしまインフラツーリズムのポータルサイトでは、県内のインフラ施設やモデルコースの情報、施設見学の様子を収めたプロモーション動画を掲載しています。

建築文化編モデルコース



優れたデザインや建築技術を備え、地域の歴史や文化などを映し出す建築物を取り入れたモデルコースを、浜通り・中通り・会津の地域ごとに作成しました！

デジタルパンフレット



詳細はこちら▶



プロモーション動画



詳細はこちら▶



各種SNSでインフラツーリズムの最新情報や見どころを紹介しています。
ぜひフォローをお願いします！

公式Instagram



公式X



ふくしま観光商談会

観光商談会にも参加し、旅行会社や観光関係者へのPRを通じて、県内外からの誘客につなげています。



「福島県政150周年」特別企画

福島県は今年、県政150周年という大きな節目を迎えました。そこで、県内のインフラ施設が県政の発展や未曾有の大災害からの復興のために果たしてきた役割を皆さんに知っていただくため、普段は入れないダム内部などの見学や特別な体験ができるモニターツアーを8月、9月に実施しました。

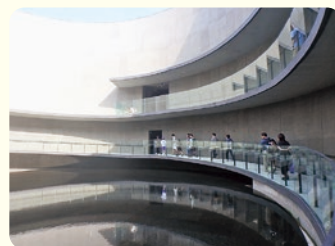
また、県政150周年にちなんで、インフラ施設の発展などを体感できるようなモデルコースを年内に公開する予定です。

第1回のモニターツアーの様子

福島県復興祈念公園（双葉町・浪江町）



公園に導入されたモビリティを使って移動する人も



国営追悼・祈念施設内の献花台に向かう様子

参加者の声

- 震災とその後の復興についてとても勉強になった。当時の大変さがわかった。
- もっとたくさんの人にインフラ施設などの魅力を知ってもらいたい。